

第1回

フランスにおける 《反アマゾン法》とその背景

▼講師

コリーヌ・カンタンさん

(フランス著作権事務所代表、翻訳家)

●日時 / 12月1日(月)

18時30分から20時30分

●場所 / 文京シビックセンター B1

アカデミー文京・学習室

●参加費 / 500円(会員外1,000円)

オンライン書店、とりわけアマゾンの値引き販売によって、本の再販制は現在、大きな危機に直面しています。また、この間、アマゾンをはじめとする海外事業者への消費税課税をめぐって、国内業者との不公平が大きな問題として浮上し、「アマゾン商法」についての一般の関心も高まっています。

アマゾンが問題をおこしているのは、日本に限ったことではありません。

官民あげてアマゾンと闘っているフランスの状況(定価販売法=改正ラング法=送料無料サービス禁止、電子書籍価格規制法)について、東京で仏語図書の著作権業務に携っているフランス出身のコリーヌ・カンタンさんにお話しいただきます。

再販制の現状と今後を考える連続セミナーの第1回です。

▼連続セミナー《再販制を考える》①——参加申し込みます

●出版社名

●参加者名

一般社団法人日本出版者協議会〔出版協〕(旧・流対協)

〒113-0033 文京区本郷3-31-1 盛和ビル40B

●事務局長/木下郁(090-1731-1954)

TEL / 03-6279-7103 ●FAX / 03-6279-7104

shuppankyo@neo.nifty.jp

ブログ / <http://shuppankyo.cocolog-nifty.com/>
